

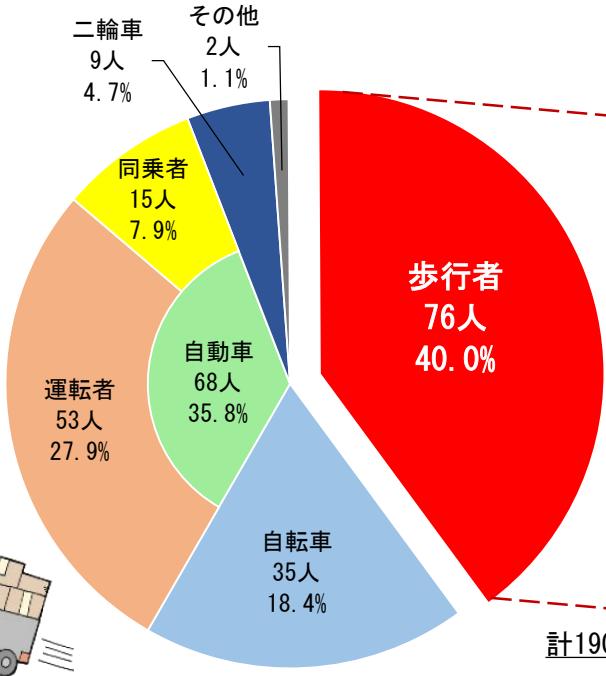
高齢者の死者が全死者の6割超

過去5年間（令和2年～令和6年）の死亡事故から

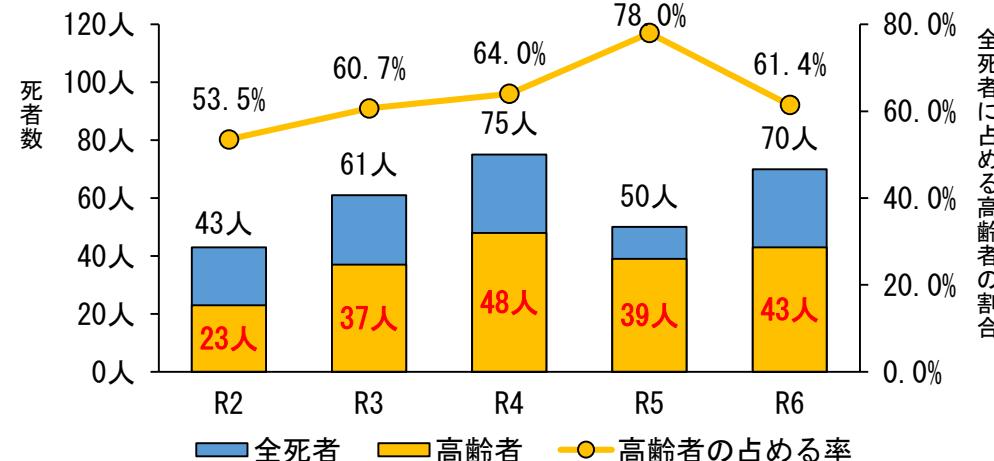
令和6年中に交通事故で亡くなった65歳以上の高齢者は43人で、全死者の約6割強を占め、令和5年を下回りましたが、5年間の平均は63.5%と依然として高率で推移している。

また、過去5年間の高齢者の死者を見てみると、歩行者が最も多く、特に、高齢歩行者の死者の約9割が75歳以上となっています。

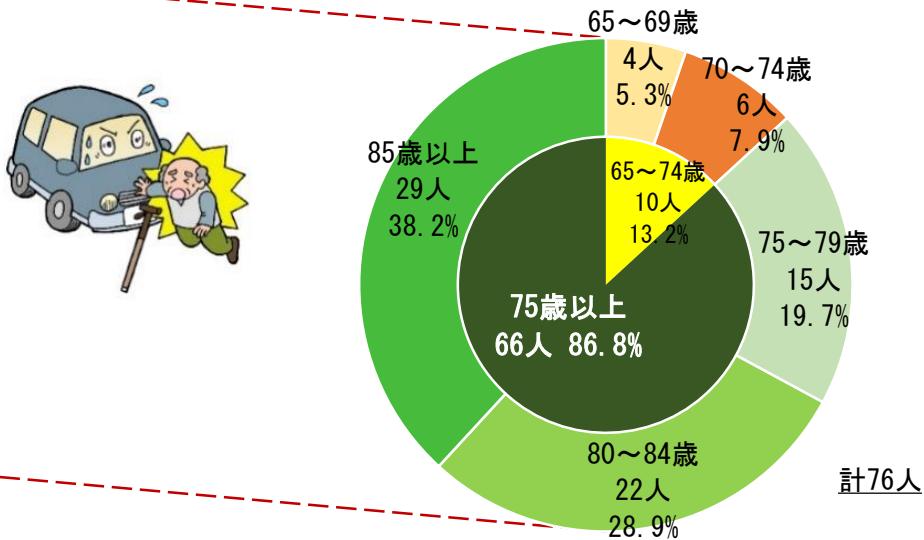
高齢者の死者・状態別



高齢者の死者数年別推移



高齢歩行者の死者・年齢層別



高齢歩行者は夕暮れ・横断中に注意！

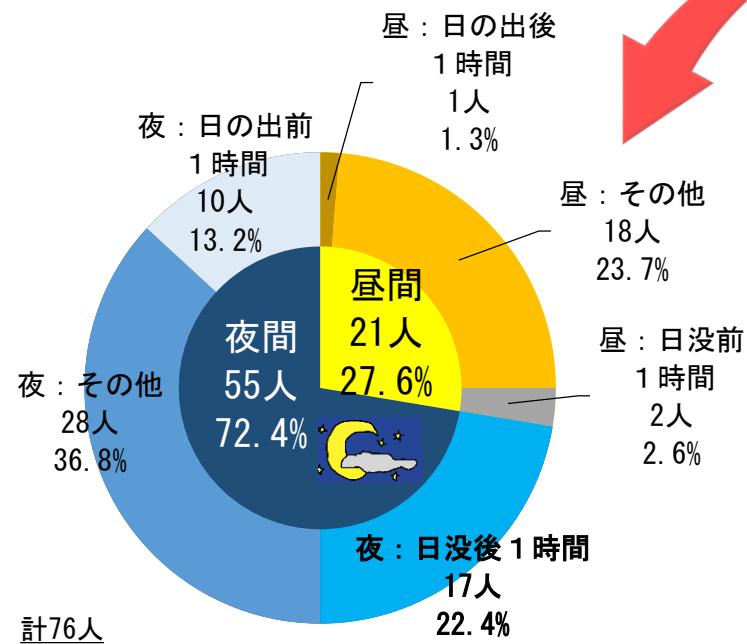
過去5年間（令和2年～令和6年）の死亡事故から

高齢歩行者の死者のうち道路横断中の死者は7割強を占め、高齢者以外（約3割）と比べて高い割合を占めています。

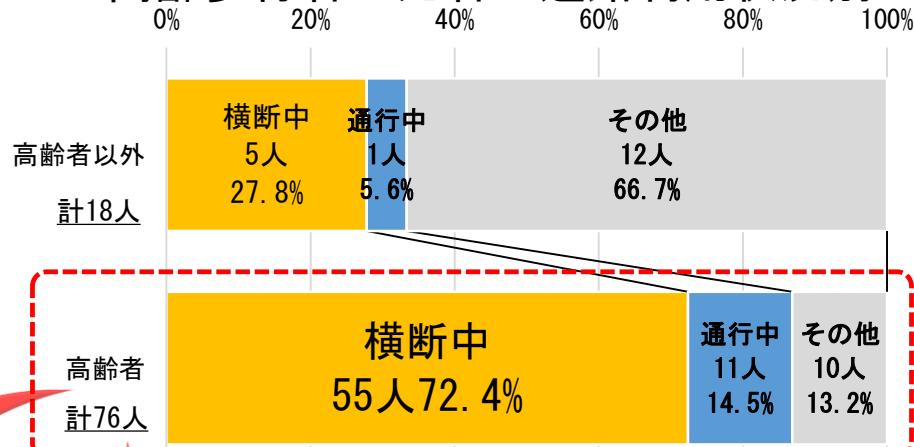
また、高齢歩行者の死者の72.4%が夜間に被害に遭っており、特に日没後1時間以内に多く発生しています。

さらに、夜間は道路横断中の事故が多く、昼間の約3.6倍の発生となっています。

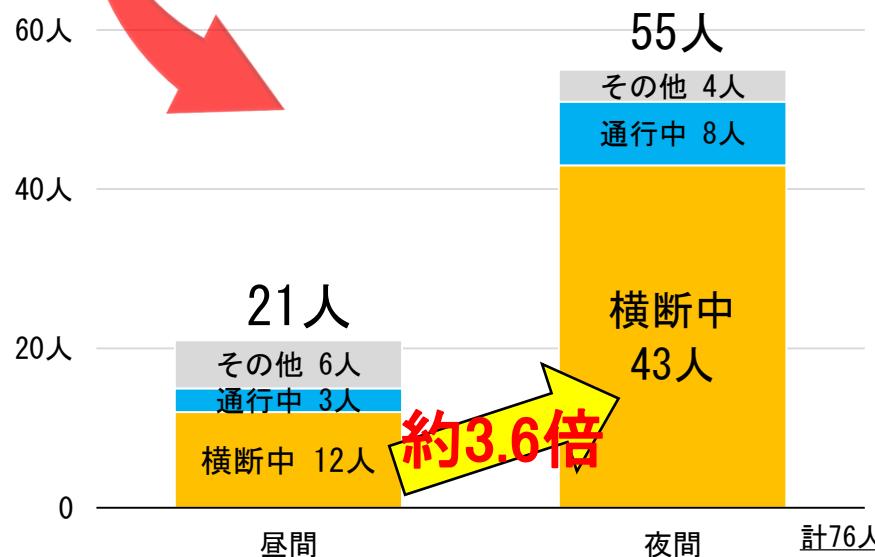
« 昼夜別死者数 »



« 高齢歩行者の死者・道路利用状況別 »



« 道路利用状況別死者数 »



夕暮れから夜間の外出時は反射材を着用！

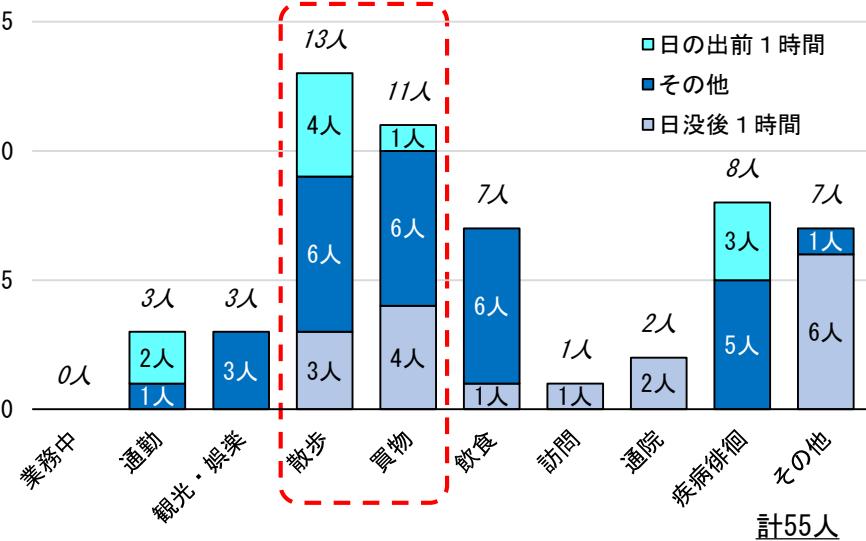
過去5年間（令和2年～令和6年）の死亡事故から

夜間の高齢歩行者の死者55人のうち、反射材を着用していたのは6人で、それ以外の49人は反射材を着用していませんでした。

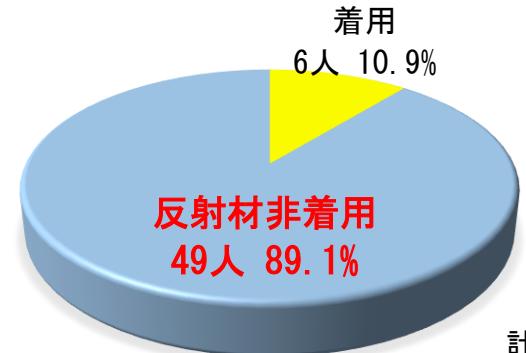
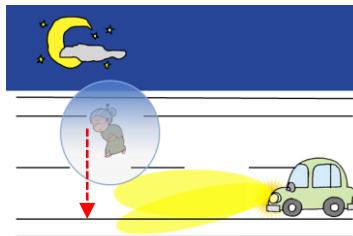
特に夜間の事故が多く、散歩、買物の通行目的が多くなっています。

高齢歩行者の道路横断中事故の運転者から見た歩行者の横断方向を昼夜で比較すると、夜間は『右からの横断者』と衝突する事故が約8割強を占めています。

夜間の高齢歩行者の死者・通行目的

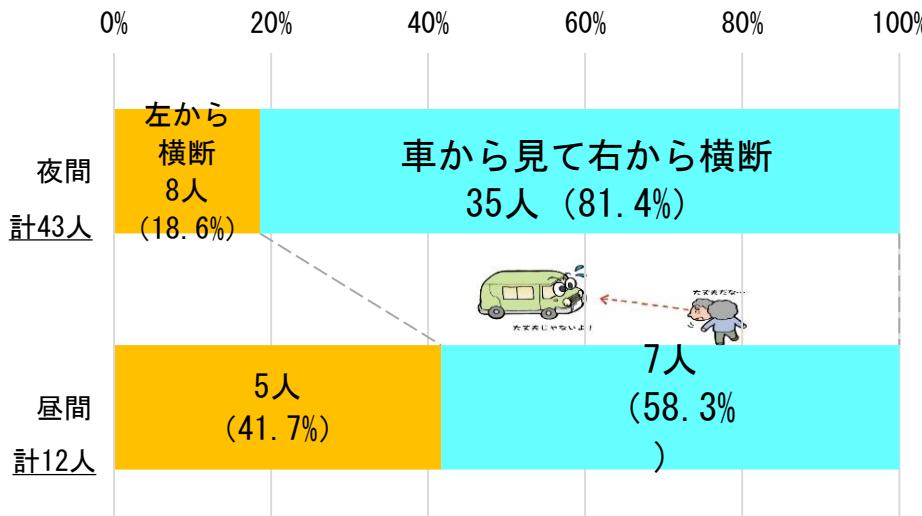


夜間の高齢歩行者の死者 反射材着用状況



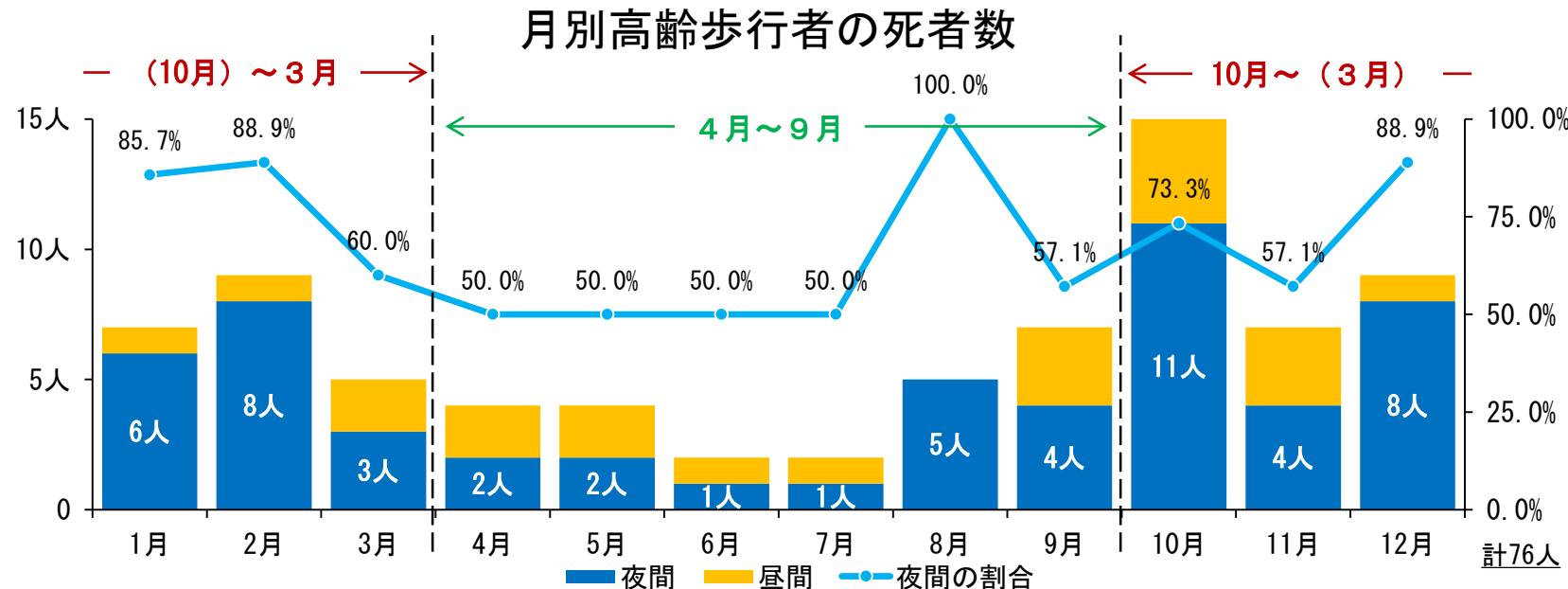
計55人

高齢歩行者の道路横断中死者



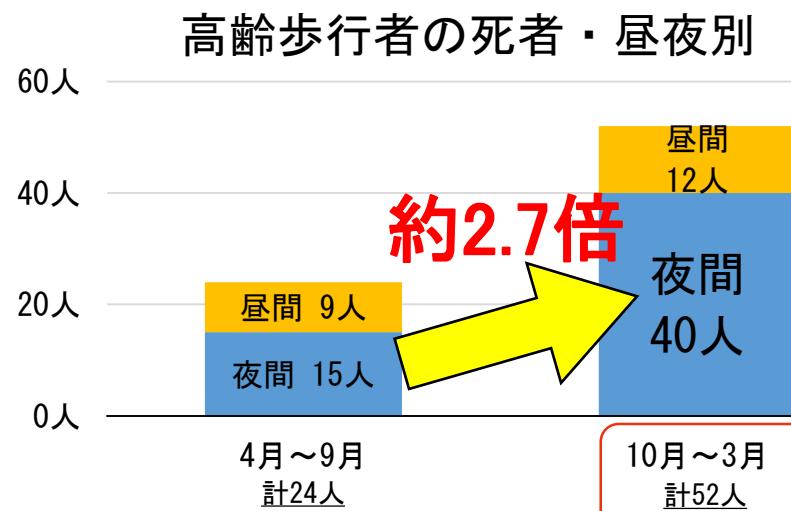
秋・冬に多発する高齢歩行者の事故

過去5年間（令和2年～令和6年）の死亡事故から



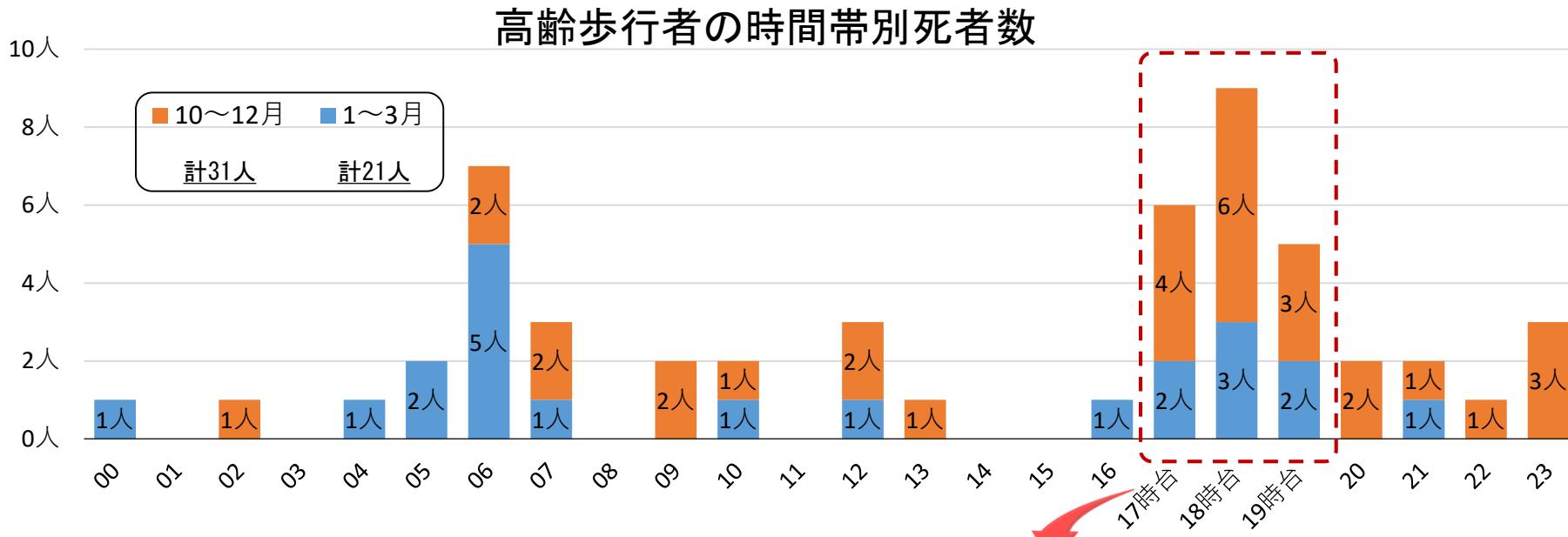
高齢歩行者の死者を月別にみると、10月以降から3月にかけて夜間に多く発生しています。

高齢歩行者の死者数を10月～3月と4月～9月で昼夜別に比較すると、昼間の10月～3月は4月～9月の約1.3倍であるのに対して、夜間は約2.7倍の死者数が多い状況です。



秋・冬に多発する高齢歩行者の事故

過去5年間（令和2年～令和6年）の死亡事故から

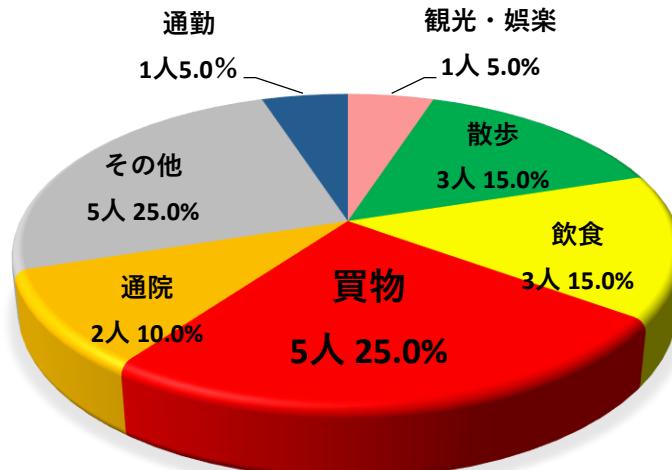


高齢歩行者の死亡事故は、日没時間が早まる秋・冬に多く発生する傾向があります。

発生時間帯をみると、10月～3月は日没後である17時～19時台に多発しています。

また、この時間帯の高齢歩行者の通行目的をみると散歩、買物、飲食が多い状況です。

高齢歩行者の通行目的 (10月～3月の17時～19時台)



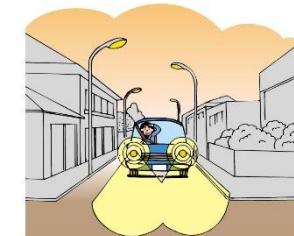
高齢歩行者の交通事故防止

« 運転者の皆さんへ »

●危険を予測し速度を控えた安全運転の徹底

特に夜間は、危険をより早く発見して対応できるように、速度を控え、危険を予測した運転をしましょう。

また、運転者から見て道路右からの横断者に十分注意しましょう。



●早めのライト点灯とハイビームの活用

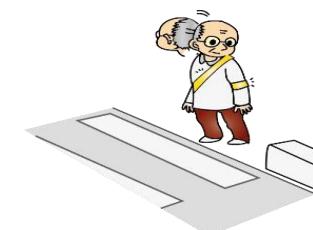
日没30分前を目安に、早めにライトを点灯させましょう。夜間、先行車や対向車がいない場合はハイビームを活用して危険を早めに発見しましょう。



« 歩行者の皆さんへ »

●『止まる』『見る』『待つ』『確かめる』の徹底

道路を横断するときは一度立ち止まり、左右の安全を確実に確認しましょう。



●『明るい服装』と『反射材』着用の徹底

夜間外出する際は、明るい服装を選び、必ず反射材を身につけましょう。

